

千葉大学病院に勤務する医師の皆様へ

2025年11月5日 第3版

総合診療科

総合診療科では、DPC とタイムスタディを用いた臓器専門医のプライマリ・ケア診療可視化に基づく医師偏在指標の開発（厚生労働省地域医療基盤開発推進研究事業）に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2023年4月1日～2025年3月31日の間に千葉大学病院に勤務する医師で、Dr. Joy の電子タグを利用されている方

1. 研究課題名

「DPC とタイムスタディを用いた臓器専門医のプライマリ・ケア診療可視化に基づく医師偏在指標の開発（厚生労働省地域医療基盤開発推進研究事業）」

2. 研究期間

2023年承認日～2028年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

2024年4月から医師の業務負担軽減を目的とした医師働き方改革が開始されますが、単に労働量を削減しただけでは医療の質、医療安全は確保できません。米国では病棟総合医（ホスピタリスト）や診療看護師（ナースプラクティショナー）など、入院患者の主治医機能、領域横断的な診療機能を主として有する専門医が活躍してタスクシフト・タスクシェアを実現しています。一方で本邦ではこれらの職種は組織的には養成されておらず、臓器専門診療科が専門領域からプライマリ・ケア領域まで幅広く対応することで日々の診療を行っています。日進月歩の医学において専門領域の情報量は日々増えており、領域横断的な診療と現状の割合のまま両立させることには困難が予想されます。そのため、本邦における臓器専門診療科のプライマリ・ケア領域の負担を可視化することができれば、タスクシフ

ト、タスクシェアの基礎資料となり、より効率の良い医療を提供することに繋がれると考えました。本研究では Dr. Joy 社による電子タグで收拾する医師の勤怠データから勤務場所毎の勤務時間を抽出して、大学病院臓器専門診療科における領域横断的な業務に従事する時間の推定を測ることを目的としています。收拾する場所毎の勤務時間からは推定が困難な場合に、各診療科からの後日の聞き取り調査でその割合を推定するため、その聞き取り調査の基礎資料を作成することも目的としています。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

事前に対象となる 35 診療科*の医局会あるいは各医局からの周知で配布、説明した資料の通り、Dr. Joy 社の電子タグで收拾する医師勤怠データより以下の情報を収集する。

A) 勤怠データと紐付けた年齢、性別、役職、診療科

B) 勤務時間、勤務場所、時間外労働時の労働種別

*35 診療科：消化器内科、血液内科、腎臓内科、アレルギー・膠原病内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、循環器内科、呼吸器内科、和漢診療科、感染症内科、腫瘍内科、総合診療科、心臓血管外科、食道・胃腸外科、肝胆膵外科、乳腺外科、呼吸器外科、麻酔・疼痛・緩和医療科、泌尿器科、救急科、整形外科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、歯科・顎・口腔外科、形成・美容外科、リハビリテーション科、精神神経科、脳神経外科、脳神経内科、婦人科、周産期母性科、小児科、小児外科、放射線科、病理診断科

研究データの収集、分析、統計解析は千葉大学の研究責任者、分担者のみで行い、他の研究分担者は、研究計画の立案、背景、解析方法の検討、考察など、論文作成に係る業務を行う。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥精司

研究責任者：総合診療科 （講師）上原 孝紀

研究分担者：総合診療科 （助教）横川 大樹

共同研究機関

聖マリアンナ医科大学総合診療内科 主任教授 大平善之

山梨大学大学院総合研究部医学域臨床医学系 特任教授 小林美亜

学校法人日本医科大学武蔵小杉病院・総合医療・健康科学 准教授 塚田弥生

国立大学法人秋田大学・医療情報学 教授 大坪徹也

東京大学医学部附属病院・国立大学病院データベースセンター 特任助教 中部貴央

公立大学法人横浜市立大学・医学群医学部医学教育学・総合診療医学 教授 太田光泰
京都大学・総合臨床医教育・研修センター 准教授 和足孝之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院総合診療科の医局、他のコンピュータと切り離されたコンピュータで保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。なお、申し出があった時点で既に研究結果が論文などで公表されていた場合はこの限りではございませんので、ご了承下さい。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院総合診療科

医師 上原 孝紀

043 (222) 7171 内線6438

(FAX) 043 (226) 2680

takanori.ue@nifty.com